

別記様式（第 3 条関係）

会 議 録（ 1 ）

会議の名称		令和 8 年度第 1 回桶川市文化財保護審議会
開催日時		令和 8 年 7 月 2 8 日（火） （開会）午後 1 時 3 0 分（閉会）午後 3 時 0 0 分
開催場所		川田谷公民館 視聴覚ホール
主宰者の氏名		桶川市教育委員会
議長の氏名		天沼律子
出席者氏名 （委員）		天沼律子、林宏一、板垣時夫、村田章人、島村等、 伊藤克彦
欠席者氏名 （委員）		杉山正司
説明員氏名		藤沼課長、桜井主任、飯塚主事、林主事
事務局職員 職名及び氏名		教育部 岩田教育長 文化財課 藤沼課長、桜井主任、酒井主事、飯塚主事、 林主事、齋藤主事補
会 議 事 項	議 題	(1) 令和 8 年度文化財保護事業及び歴史民俗資料館事業の事業報告 について
	決定事項等	
配布資料		・ 会議資料 ・ 桶川市文化財保護審議会委員名簿 ・ 文化財だより（第 151 号） ・ 埼玉の文化財（第 66 号）

会議録（２）

議 事 の 経 過	
発 言 者	内 容
事務局	１．開会 桶川市文化財保護審議会規則第６条第２項に基づき、委員７名中６名出席により会議が成立する旨の報告 ２．委嘱状交付 ３．教育長挨拶 ４．会長挨拶 ５．新任委員挨拶（伊藤委員） ６．議事 【傍聴人なしの報告】 （１）令和８年度文化財保護事業及び歴史民俗資料館事業の事業報告について
事務局	【資料に基づき事務局説明】
天沼会長	質疑に入らせていただきます。 まず、資料１ページの文化財保護事業予算額ですが、昨年度より大幅に増額している理由を教えてください。
事務局	令和８年度当初に実施した高井遺跡発掘調査事業に係る機械借上料や報告書作成費等の増額によるものです。
板垣委員	資料１２ページの民俗芸能伝承状況調査で各団体の活動状況の記載がありますが、コロナ禍での活動縮小といった影響で、コロナ前と比較して演目数の減少など、何かしらの変化が見られますか。
事務局	団体により差はあります。例えば、下日出谷の餅つき踊りは祭礼時には踊りを公演しますが、以前の様な活動は難しいとのことで、コロナを境に公演はしていません。 また獅子舞ですが、市内に４団体（小針領家・三田原・前領家・松原）ありますが、小針領家はコロナ前に戻りつつあります。三田原と前領家は村廻りも復活し、演目も戻りつつありますが、時間の短縮等の変化が見られます。松原は、地域の盛り上がり意識の低下や世帯数の減少により昨年度から活動休止となり、祭礼は行いますが獅子舞は行っていない状況です。

林委員	活動の中心になっている方に働きかけて、地元の方とも連携して、以前の様な活動ができる可能性はありますか。
事務局	若い世代が集まらないため、笛方などの熟練者が引退してしまうと、演目自体が出来ない状況になりつつあります。 そのため、令和6年度から祭礼時に笛頭の方に密着して公演場面を記録し、その後に演目の解説を付けていただくといった映像記録を行い、復活した際は、その映像記録を活用したいと考えています。
林委員	都市化や人口減少が進む中では、伝統芸能活動が取り残される状況が必然的に生じると思う。行政の取り組みだけでは解決しない問題もあり、将来的なことを考えると復活・再生に向けた働きかけを行うとともに、コロナを契機に全国的に民俗活動の伝承が難しくなっている現状を鑑み、確実に映像記録は残すようにお願いします。
事務局	分かりました。
天沼会長	毎回、民俗芸能活動の記録を取るようお願いしていますが、その記録は年々積み上がっていますか。
事務局	民俗芸能活動について、努めて映像記録を行っており、その蓄積はございます。今後は、その記録を活用して、いかに地元で還元していくかが課題と考えています。
天沼会長	地元への還元は必要でありますし、身近な活動にもなりますので、その周知も行った方が良いと思います。
事務局	歴史民俗資料館では、映像の展示として季節に合わせた映像を流しています。映像を見て興味をもつ方もおりますので、地元の方にも見ていただけるよう工夫したいと思います。
林委員	資料13ページの地図は、これは審議会用の資料ですか。 例えば、この地図を市広報に掲載すれば、市民の方に対して市内のこの場所で、この様な民俗芸能活動をしていると周知できると思います。それをきっかけに訪れる人も現れるし、民俗芸能団体の方にも一つの刺激になると思います。
天沼会長	日程が分かっている公演があれば、日程も記載した方が良くし、問い合わせ先もあれば、なお分かりやすいと思います。
事務局	市広報に掲載することは可能ですし、公演情報は市のホームページに掲載しております。 公演日程を広報に記載とのご意見ですが、広報の原稿締切が2カ月前なので、日程の記載は難しいですが、問い合わせ先を掲載するなどを検討いたします。

島村委員	ホームページに掲載するなら、閲覧数の記録も取っておいた方が良いでしょう。 また、下日出谷の餅つき踊りは、コロナ前は11月3日の市民祭りでも公演していたと思いますが、現在はどうですか。
事務局	現在は公演しておりません。
島村委員	市民祭りでの公演は、市からの依頼ですか。
事務局	その通りです。ただ、団体側から公演は難しいとの申し出がありました。また、毎年5月に「ふれあいフェスタ」というイベントがあり、そちらにも出演されていましたが、同様に団体から辞退の申し出がありました。
島村委員	下日出谷の餅つき踊りは、NHKの紅白歌合戦出場やイベントへの出演依頼があるなど、立派な活動歴があると伺っていますが、後継者不足ということですか。
事務局	ご意見の通りです。現在、一番若い方で75歳と伺っております。団体の方からは、現状、会社員の方が多く活動が難しいため、お願いしても参加してもらえないと伺っています。
板垣委員	芸能保存団体は、少子高齢化により担い手不足となっておりますが、例えば久喜市（鷲宮）の神楽ですが、教育委員会と神楽保存会が協力して伝承教室を開催しています。その後、受講者が保存会にそのまま入会して活動されていますが、受講者の中には地域外の方もいるそうです。 やり方だとは思いますが、昔の民俗芸能活動は地元の人が公演する決まりがほとんどでしたが、地元に拘っていると民俗芸能は立ち行かなくなると思います。よって、地域外の方や女性の参加も認めるといった、他地域での取り組み例を市内の団体に向けて知らせるのも方法の一つだと思います。
事務局	ご意見を参考させていただきます。
天沼会長	ささら獅子舞の3団体（三田原・前領家・小針領家）ですが、獅子舞の踊りに違いがありますか。
事務局	特徴として、例えば、先程話にあった松原の獅子舞は「草むしり獅子」と呼ばれ、腰を低くして舞います。また、前領家の獅子舞は、牧野氏の本陣で舞うことを許された洗練されたものです。小針領家の獅子舞は、戦後に断絶期間がありましたが、平成14年頃に復活しました。ただ、古い所作や演目の一部が失われています。
天沼会長	獅子舞に棒術の有無もありますか。

事務局	棒術があるのは、小針領家だけです。
天沼会長	以前、学校のクラブ活動で棒術をやっていたと聞いたことがあります。
事務局	西小で餅つき踊りのクラブ活動があることは聞いています。
林委員	学校の郷土学習の一環で、民俗芸能を教えるのも方法の一つであると思います。
伊藤委員	以前、西小に勤務していた時に餅つき踊りのクラブがあり、教員だけでは指導ができず、指導者の方も呼んで活動していましたが、現在はありません。今は、郷土芸能クラブというものがあり、月1回程度の活動をしています。最近では指導者の確保が難しいため、クラブ自体が徐々に縮小傾向にあります。
島村委員	南小が廃校になるまでは、民俗芸能活動を行っていました。そこで教えた子どもを山車に載せて、演目を披露したこともあります。できれば、各学校の校長先生に協力いただき、地域ごとの民俗芸能を教える時間を設けてほしいと思います。
村田委員	資料2ページの高井遺跡第14次発掘調査事業ですが、令和8年度に実施とありますが、これはすでに行われたのですか。
事務局	今年度の4月に実施いたしました。
村田委員	どの程度の発掘規模ですか。
事務局	規模としては160㎡程度です。別資料もございますので、この後、改めて説明させていただきます。
天沼会長	武村氏の絵画資料が指定文化財候補と聞いていますが、ここで調査にご協力いただいている林委員から、現状報告をお願いできればと思います。
林委員	始めに事務局から概要説明をお願いします。
	【事務局説明】
林委員	件数は全部で406点と多いですが、その中で水彩画を中心にどこを描いたものかを選別、整理しました。また、どの様に指定していくか事務局と調整した結果、最初は市内に限定した作品と考えましたが、桶川市近隣の風景でも丹念に描いてある作品もあるため、桶川宿の街中を中心として、近隣風景を描いた作品を含めて指定候補としました。 また、水彩画に適した紙材（イギリス製、フランス製）を使用していたり、制作時期により異なる紙材を使用していること

	も判明いたしました。この調査を踏まえて、次回の保護審議会では、しっかりした資料が提出できると思います。
事務局	ご意見にあった通り、次回審議会において、指定候補の60点の作品の内訳、紙材、製作年の一覧等の資料を提出したいと考えておりますし、その際は実際の作品を何点かご覧いただければと思います。
天沼会長	保存状態はいかがですか。
林委員	額に入っていたり、囲りに裏打ちしたものあり、保存状態は比較的良い状態です。
天沼会長	一番早い時期の作品はどの位前のものですか。
事務局	明治30年代後半で、武村氏が桶川に居住する前です。明治41年に移住しましたので、制作時期としては明治40年代から大正6年頃にかけてとなります。
村田委員	作品は全て桶川市に寄贈されているのですか。 寄贈されている場合、絵画資料だけか、それとも関係資料もあるのですか。
事務局	絵画資料のみです。武村氏の孫にあたる方から、武村家で保管されていた絵画全てを寄贈いただきました。ただ、絵の具や筆などは、お孫さんの話では残っていないとのことです。
村田委員	指定区分は、美術となるのですか。
林委員	美術の絵画資料で結構だと思います。
事務局	事務局としては今年度の指定を目標としており、今後の流れとして、教育委員会から保護審議会へ諮問するという形になります。次回審議会が来年2月に開催予定なので、その前に諮問をいただき、審議会での答申、3月の教育委員会で議決するといったスケジュールで動いていきたいと考えています。
林委員	資料10ページの指定文化財保存管理交付金にある文化財の名称は指定名称ですか。
事務局	指定名称です。
林委員	指名名称としては、一考を要するものもあると思う。
事務局	検討したいと思います。

島村委員	シイガシなどはナラ枯れの心配がありますが、天然記念物に関する調査はされているのですか。
事務局	現地確認を行っていますが、中には現地確認ができないものもあります。シイガシは、ここ数年で樹勢が衰えています。その他の天然記念物には、被害は確認されていません。
島村委員	クビアカツヤカミキリの被害も聞かれますが、近くに被害にあった樹木があると翌年には被害が及ぶそうです。 桶川市はクビアカツヤカミキリの生息域の最南域と言われており、上尾市でぽつぽつ、北本市では指定文化財の桜に被害が出始めていると聞いています。 これに関して、適切な処置方法が確立されておらず、ナラ枯れ同様、被害を早急に見つけることが最善策なので、天然記念物もそうですが、例えば、学校には桜が多くありますが、教育委員会と情報共有して被害にあわない形をとっていただければと思います。
伊藤委員	昨年度、桶小に勤務していた際に調査がありましたが、ほとんどの木で被害が確認されました。
島村委員	どのような対応をされたのですか
伊藤委員	成虫がいたら伐採の必要があると言われましたが、その後、どのような処置をしたか、確認できませんでした。
島村委員	成虫が確認されると、木の中が空洞になり倒木の危険性もあります。その場合、アンブルで処置する形が多いですが、どの程度効果があるかははっきりしません。また、桜だけでなく、梅や桃の木にも被害が見られるそうです。
天沼会長	出来れば、市の方で注意喚起をお願いしたいと思います。
事務局	分かりました。
	【議事終了】
事務局	7. その他 (1) 殿山南遺跡（第6次）発掘調査概要報告 (2) 高井遺跡（第14次）発掘調査概要報告 (3) 国指定文化財「熊野神社古墳出土品」調査研究委員会設置要綱
天沼会長	熊野神社古墳出土品が桶川市に戻ってきたと思うのですが、2028年には100周年を迎えること、また、村田委員にもご協力いただいておりますので、これを機会に市内外の方知ってもらえるように企画を行う予定がありますか。

事務局	熊野神社古墳出土品は、現状、しっかりした調査が行われていないので、まずはその点をしっかり行うことが必要と考えています。次の段階として、100周年に合わせて、市民・県民の方幅広く知っていただくための企画を準備していきたいと考えております
林委員	この件は、文化庁や県とはどの様に連携していますか。
事務局	調査研究委員会には県職員の方も委員としてご協力いただいております。県にも報告はしております。また、国との調整も県に仲介いただき進めております。
林委員	文化庁には、この委員会の設置について報告していますか。
事務局	調査研究委員会を立ち上げた際、県の指定文化財担当を通して、文化庁と情報共有しています。
林委員	補助金などは出ないのですか。
事務局	適合する補助金は見つかりませんでした。
村田委員	県を通じて、補助金メニューを探したのですが、適切なものが見つかりませんでした。
板垣委員	報告となりますが、今年度の埼玉県文化財保護協会の総会をここで開催しましたが、その際、林委員が文化財功労者として表彰されました。
	8. 閉会